

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

**提案公募型改革モデル校「パイオニアスクールよこはま」
(略称「PSY」) 18年度は27校を指定!**

平成17年度から実施している「パイオニアスクールよこはま(PSY)」は、各学校からの提案に基づき、従来の制度や運用の枠組みにとらわれない新たな取組に挑戦する教育改革のモデル校です。このような取組によって、自律・分権型の学校運営の推進や、校長、教職員の意欲を引き出すことにより、新しい時代の要請に応じた教育の実現や地域の特性に応じた教育を提供することが期待されます。また、各学校同士が互いに切磋琢磨することによる教育改革の好循環を生み出し、全市的な教育水準の向上を図っていきます。

パイオニアスクールよこはま(PSY)17年度・18年度指定校

	17年度指定校		18年度指定校	
	小学校	中学校	小学校	中学校
	15校	10校	18校	9校
計	25校		27校	
合計	小学校		中学校	
	33校		19校	
	52校			

※ 指定校、指定内容は、別紙のとおりです。

～ 教育先進都市推進モデル事業 ～

自律・分権型
学校運営の推進

校長や教職員の意欲に応え
夢を実現する仕組みづくり



提案公募型改革モデル校 「パイオニアスクールよこはま」

- 教育委員会や学校が従来の発想や制度、運用の枠組みにとらわれない、新たな取組に挑戦
- 基礎・基本の習得など、必要な教育水準を備えた上で、加えて、新たな取組を実践
- 各学校からの提案に基づき、教育委員会が指定
- 各学校が切磋琢磨することによる教育改革の好循環

新たな取組の例示

「学校運営」

保護者や地域が
参画・支援

- 学校運営協議会の設置
- 学校情報の積極的公開
- 外部評価の実施

等

「教育内容」

社会変化に
対応した教育

- 小学校における英語授業の実施
- 小・中学校を通じた一貫したカリキュラムの検討
- 大学との連携

等

「指導方法」

学校教育をめぐる
問題への対応

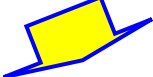
- 小学校高学年での算数の教科専科制
- 在籍児童・生徒の国の文化に触れ、共に認め合う多文化共生教育の実施

等



平成18年度の事業内容

- 学校への予算配当
(例) 地域人材等への謝金
教材・教具整備費
先進事例調査費
- 学校に対する情報提供及び指導助言



通学区域特認校制度

- 学校の余裕教室の状況等を勘案し、通学区域外児童生徒を受入れ
(18年度 小学校4校
中学校3校)

パイオニアスクールよこはま(PSY)17年度・18年度指定校

区名	17年度指定校		18年度指定校	
	小学校	中学校	小学校	中学校
鶴見			潮田小学校	
神奈川	三ツ沢小学校	松本中学校		栗田谷中学校
西	東小学校	西中学校		老松中学校
	西前小学校			
	宮谷小学校			
中	立野小学校	仲尾台中学校	本町小学校	
	本牧小学校	富士見中学校	山元小学校	
	間門小学校	港中学校		
		吉田中学校		
南	日枝小学校		井土ヶ谷小学校	
			永田小学校	
港南	南台小学校		丸山台小学校	東永谷中学校
保土ヶ谷				新井中学校
旭	今宿南小学校		ひかりが丘小学校	若葉台東中学校
			二俣川小学校	若葉台西中学校
			若葉台東小学校	
			若葉台西小学校	
			若葉台北小学校	
磯子		根岸中学校		汐見台中学校
金沢	釜利谷西小学校	西金沢中学校	並木中央小学校	
港北	港北小学校			日吉台中学校
緑	霧が丘小学校	霧が丘中学校	新治小学校	
			三保小学校	
			山下みどり台小学校	
青葉			桂小学校	
			つつじが丘小学校	
都筑		東山田中学校		
戸塚				
栄	本郷小学校		千秀小学校	
泉	いちょう小学校			上飯田中学校
瀬谷				
計	15校	10校	18校	9校
	25校		27校	

18年度パイオニアスクールよこはま(PSY)指定内容一覧

	部 門		区	学校名	事業名	事業概要
	大	中 小				
1	大学 学校運営	地域参画 学校運営協議会・NPO	栄	千秀小	地域との協働を目指して、学校運営協議会の設置、地域人材である千秀っ子応援隊(教育ボランティア)のシステム化を図り、教育力の向上を目指す	1. 「まち懇」の機能改善と強化を図り、「学校運営協議会」の導入を目指す 2. 地域人材の確保と活用 3. 地域の学校支援組織のNPO法人化を目指す
2		地域参画 NPO	青葉	つつじが丘小	学校図書館の地域情報センター化事業	1. 子どもたちの学び、「わかる」を支える地域の力、民間の力を機能的に活用 2. 媒体情報に限らず、「人」による経験知あふれる地域の学びの場に 3. 地域ニーズとのGive & Takeによる地域参加型センター 4. 「学び」「体験」を中心に、生涯学習社会を通じたコミュニティの活性化
3		地域参画 大学連携特別支援教育	緑	三保小	地域と近隣大学との連携による、“学びの共同体”教育の推進	1. 地域人材の参画とサポーター組織の立ち上げと活用 2. 特別支援教育を中心とした近隣大学(星槎大学横浜情報処理センター)との連携と交流 3. 校内組織づくりと指導法の研究
4		地域参画 学校運営協議会	旭	二俣川小	「学校運営」保護者や地域住民の意向を把握・反映する地域参画型学校運営の創造	1. 「ふれあい教育懇話会」(まち懇)の学校評議員制度、「学校運営協議会」への移行 2. 地域住民や保護者、児童による学校評価を学校運営にかかすシステムの構築 3. 学校ホームページを中心とした積極的な情報公開
5		地域参画 学校運営協議会	緑	新治小	外部評価の在り方・学校運営協議会の在り方を追求する中で学校の組織改革と自然、社会、人的な環境を生かした環境教育と共生教育の充実を目指す	1. 「学校運営協議会」の設置 2. 地域を巻き込んだ組織マネジメントによる学校運営 3. ICTを活用した情報発信および他都市先進事例の情報共有化
6		地域参画 参画コーディネート組織	中	山元小	子どもと地域の協働による学校農園のサポーター組織の自主運営化と教育課程上の農園体験プログラムの開発を目指す	1. 地域畑ボランティア、PTA畑委員会の農園作業への参画 2. 地域、PTA、教職員の連携強化

7	学校運営	地域参画	参画コーディネーター組織	金沢	並木中央小	学校評議員の参画による新たなコミュニティースクールの創造	1. 「まち懇」に代わる学校評議員制度の構築 2. コミュニケーション力育成プログラムプロジェクトへの学校評議員の参画
		地域参画	参画コーディネーター組織	旭	ひかりが丘小	少子高齢化地域の小規模校メリットを生かした地域参画型学校ー地域と学校の活性を目指してー	1. 教育ボランティア(サポーター)をコーディネートする地域組織(仮称「ひかり本部」)の構築 2. 地域型学校行事の実施と校内組織の改善 3. 学校内保育所との交流促進
		地域参画	参画コーディネーター組織	緑	山下みどり台小	学生サポーター、地域人材の活用による「豊かなかわり」を通してよりよい人間形成を図るための教育活動の構築	1. 地域人材、大学生等のサポーター組織の構築 2. 放課後の補習サポート事業
		地域参画	参画コーディネーター組織	西	老松中	職業体験学習を核とした、市民力を育む地域参画型学校	1. 職業体験活動等をサポートする地域サポーター組織の確立 2. 3年間を見通し、将来へつなげる市民力育成の実践
		地域参画	参画コーディネーター組織	神奈川	栗田谷中	地域参画型の学校運営と子どもの主体的学習を導き出す学校施設・教育課程の編制(防犯・防災・交流を地域・保護者・卒業生・在校生とともに)	1. 地域交流室の設置 2. 同窓会、PTAを中心とした組織による地域交流室の運営
		地域参画	参画コーディネーター組織	保土ヶ谷	新井中	地域参画型学校～スポーツイベントを中核としたサポート組織の構築を目指して～	1. 学校教育への主体的支援組織の構築 2. 校舎内に地域のコーディネーター・サポーター等のコミュニケーションステーションの設立
		地域参画	参画コーディネーター組織	磯子	汐見台中	環境教育を通じた地域参画型の学校づくり～省エネルギー学習を中心として～	1. ソーラーパネルの維持管理及び環境教育を主体的に推進する地域サポーター組織(仮称汐見台エコクラブ)の立ち上げ 2. 地域の企業(東芝、IHI、東京電力、東京ガス、電源開発)によるキャリア教育、近隣企業との連携による選択授業 3. 他局(環境創造局総合企画部温暖化対策室)の事業を活用し、屋上にソーラーパネル設置 4. 「新アジェンダ21かながわ」への登録

14	学校運営	地域参画	自然科学教育	南	井土ヶ谷小	地域の組織力を生かした「井土ヶ谷コミュニティプラン」	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「まち憩」を機能強化し、地域・保護者・卒業生等による「井土ヶ谷ボランティア・コミュニティールーム」を創設 2. 地域・保護者と連携し、校内等の自然環境の充実と指導法の工夫・改善
15		地域参画	参画コーディネート組織	港北	日吉台中	地域参画型学校を目指して～造形教育に重点をおいた次世代の市民を育てるためのプロジェクト～	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域在住の画家、デザイナー、企業人の学校運営・教育活動への参画およびコーディネート組織の構築 2. インターネット美術館を中心としたホームページの充実 3. 取組を市美術科研究会を通して、全市、県全体へ投げかけていく
16		地域参画	参画コーディネート組織	港南	東永谷中	地域とのネットワークで創る新学習環境事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域参画型の学習支援活動 2. 地域力(専門的知識・技能等)の教育活動への参画
17	教育内容	小中一貫	9年間カリキュラム	旭	若葉台東小	学校力と地域力で創る学校ー小中学校再編に伴う小中一貫教育のカリキュラム編成ー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小中一貫カリキュラム作成(国語、算数・数学、英語) 2. 小中一貫体験学習カリキュラムの編成 3. 近隣の高校、大学および地域行事との連携 4. 学校サポート組織の編成
18					若葉台西小		
19					若葉台北小		
20					若葉台東中		
21					若葉台西中		
22	特別支援教育	国際教室の充実	鶴見	潮田小	教育サポーター導入による国際教室の充実	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育サポーター活用と国際教室のあり方 2. 来日してから就学までの指導計画の作成 3. 所属学級担任等との連携のあり方 4. 自国文化に誇りを持つための支援 5. 中学校との連携 	

教育内容	23	環境教育	水田、畑の活用	中	本町小	市街地の小学校における自然との関わり合いを通じた感性を育む環境教育	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域人材との協働による環境教育(一人一鉢活動、プランターでの栽培活動、バケツ稲の栽培、水田での稲作り) 2. 農業体験活動を始めた情報発信と交流
	24	英語活動	話す力	南	永田小	「話す力」を伸ばす英語活動の展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合的な学習の時間における英語活動の時間のカリキュラムの充実 2. 年間35時間の英語の時間 3. 学年に応じた「話す力」を伸ばすカリキュラム作成 4. 英語会話環境の日常的な設定 5. 幼・保・小連携による児童から幼児への発信と交流
	25	健やかな身体と豊かな心	食育・環境教育	港南	丸山台小	「食」の学びを通して健やかな身体と豊かな心を育む	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「食育」のカリキュラム作成 2. 「食」の生産者や栄養・保健関係者等との連携による体験学習
	26	英語活動	コミュニケーション能力	青葉	桂小	英語を積極的に活用したコミュニケーション能力の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年間35時間の学年別カリキュラムの作成・実践 2. 英語の教材研究の充実 3. 教職員対象英語研修 4. 取組の情報発信(学校HPの充実)
	27	共生教育	多文化共生	泉	上飯田中	上飯田中学校区国際理解教育(多文化共生教育推進事業)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域人材による外国人生徒に対する母語指導、母語による教科支援、放課後補習 2. 多文化共生に向けた職員研修

18年度「パイオニアスクールよこはま」 指定校 研究概要

区・学校名	栄区・千秀小学校
ジャンル	地域参画
事業名	地域との協働を目指して、学校運営協議会の設置、地域人材である千秀っ子応援隊（教育ボランティア）のシステム化を図り、教育力の向上を目指す

○ 事業概要

様々な教育ボランティアが幅広く教育活動に参画していることを生かし、地域の学校支援ボランティアの組織化を図ることにより、地域との協働を目指す。

- 1 「まちとともに歩む学校づくり懇話会」の機能改善と強化を図り、学校運営協議会の導入を目指す
- 2 地域人材を活用した様々な教育活動（支援を要する子へのサポート、パソコン授業、クラブ活動、農業体験、防犯対策等）を組織化し、学校外からの支援組織を確立
- 3 地域の学校支援組織のNPO法人化を目指す

○ 選考理由

当校は、従来より千秀っ子応援隊と称する様々な教育ボランティアが存在し、現在も幅広く教育活動の中に参画している。この応援隊を核として地域ボランティアを組織的に学校を応援するNPO法人に高めていくと同時に「まちとともに歩む学校づくり懇話会」を強化し、学校運営協議会として位置づけていくことにより、地域と協働した学校づくりの新しいモデルとなりうると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」 指定校 研究概要

区・学校名	青葉区・つつじが丘小学校
ジャンル	地域参画
事業名	学校図書館の地域情報センター化事業

○ 事業概要

学校図書館（図書室）を充実させ、地域に開放するだけでなく、「学校」という「場」に、子どもたちの学びと生涯学習を融合させた新たな機能の構築を目指す。

- 1 子どもたちの学び、「わかる」を支える地域の力、民間の力を機能的に活用
- 2 媒体情報に限らず、「人」による経験知あふれる地域の学びの場とする
- 3 地域ニーズとのGive & Take による地域参加型センターとする
- 4 「学び」「体験」を中心に、生涯学習社会を通じたコミュニティの活性化を図る

○ 選考理由

単なる図書館機能の充実や地域開放ではなく、学校教育に地域の教育力をどう取り込んでいくか。その際、地域と学校の間には協働の関係を築くことによる学習内容の高まりや地域の教育力の取り入れ方を検証できる一つの先行事例となると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	緑区・三保小学校
ジャンル	地域参画
事業名	地域と近隣大学との連携による“学びの共同体”教育の推進

○ 事業概要

地域人材の授業への参画、近隣大学との連携を通して、きめ細かな指導法の構築を目指す。

- 1 地域人材の参画とサポーター組織の立ち上げと活用
- 2 特別支援教育を中心とした近隣大学（星槎大学横浜情報処理センター）との連携と交流
- 3 校内組織づくりと指導法の研究

○ 選考理由

地域人材を積極的に授業に取り込み、どのような活用の仕方があるかを探る。また、同時に、専門的な分野については大学との連携を図る。このことにより、教育内容の質の向上を図ると共に導入による指導法の改善や指導組織の改善と一体となったカリキュラムの変更を模索している点が一つの先行事例となると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」 指定校 研究概要

区・学校名	旭区・二俣川小学校
ジャンル	地域参画
事業名	「学校運営」地域参画型学校運営の創造

○ 事業概要

保護者や地域住民の意向を把握・反映し、地域住民が学校運営に参画する学校を目指す。

- 1 「ふれあい教育懇話会（まちとともに歩む学校づくり懇話会）」に学校評議員制度を導入し、外部評価を積極的に取り入れていく中で、学校評議員制度の機能強化を図り、学校運営協議会への移行を目指す
- 2 地域住民や保護者、児童による学校評価を学校運営に活かすシステムを構築
- 3 学校のホームページを中心とした積極的な情報公開に努める

○ 選考理由

外部評価のあり方を追求し、地域住民や保護者、児童のニーズに応じた学校教育の在り方を模索する。このことと同時に学校教育の在り方の妥当性を高めるために学校運営協議会を導入する。地域参画を外部評価と一体して進めることにより、現在の学校のあり方を改善する先行事例の一つとなると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」 指定校 研究概要

区・学校名	緑区・新治小学校
ジャンル	地域参画
事業名	外部評価のあり方・学校運営協議会の在り方を追求する中で学校の組織改革と自然、社会、人的な環境を生かした環境教育と共生教育の充実を目指す

○ 事業概要

豊かな自然・社会・人的環境を活用し、地域住民が学校運営に参画する学校を目指す。

- 1 学校運営協議会の設置を目指す
- 2 地域を巻き込んだ組織マネジメントによる学校運営を实践
- 3 ICTを活用した情報発信及び他都市先進事例の情報共有化

○ 選考理由

専門的な知識をもつ外部協力者の支援を受けて外部評価のあり方を追求し、学校課題に迅速に対応するシステムを模索する。このことと同時に学校教育の在り方の妥当性を高めるために学校運営協議会を導入する。地域参画を外部評価と一体して進めることにより、現在の学校のあり方を改善する先行事例の一つとなると判断し、指定した。

**18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要**

区・学校名	中区・山元小学校
ジャンル	地域参画
事業名	子どもと地域の協働による学校農園のサポーター組織の自主運営化と教育課程上の農園体験プログラムの開発を目指す

○ 事業概要

学校農園を核とした学校支援ボランティアの確立と農園体験プログラムの開発を目指す。

- 1 既存の地域畑ボランティアとPTA畑委員会による農園作業への参画を中心として、学校農園をサポートする地域人材による組織を確立
- 2 地域、PTA、教職員の連携強化を図り、地域の人と共に学ぶ農園体験プログラムを作成し、教育課程上に位置づけ、教育内容の向上

○ 選考理由

学校の特色ともなっている学校農園の活動を核として、地域人材による学校教育へのサポート組織を確立する取組は、地域人材の活用から地域参画型の学校運営への改善を模索する学校の先行事例の一つとなると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」 指定校 研究概要

区・学校名	金沢区・並木中央小学校
ジャンル	地域参画
事業名	学校評議員の参画による「新たな」コミュニティー学校の創造

○ 事業概要

統合による新校開校を契機に、学校評議員制度による地域住民が学校運営に参画する学校を目指す。

- 1 従来の「まちとともに歩む学校づくり懇話会」に代わる「学校評議員制度」を構築し、地域住民とともに「新たな」コミュニティー学校を創造
- 2 コミュニケーション力育成プログラムプロジェクトへ学校評議員が参画し、プログラムを共同開発

○ 選考理由

統合を新たな出発の機会ととらえ、地域住民・保護者・学校が一体となった教育プログラムを学校評議員制度を活用して地域住民とともに開発していかうとする試みは、今後の地域参画型の学校運営を目指す学校の一つの先行事例となりうると判断し、指定した。

**18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要**

区・学校名	旭区・ひかりが丘小学校
ジャンル	地域参画
事業名	少子高齢化地域の小規模校のメリットを生かした地域参画型学校 ～地域と学校の活性化を目指して～

○ 事業概要

少子高齢化地域において、地域と学校が一体となって地域の活性化を図る地域参画型学校を目指す。

- 1 教育ボランティア（サポーター）をコーディネートする組織（仮称「ひかり本部」）を構築
- 2 地域型学校行事の実施と校内組織の改善
- 3 学校内保育所との交流を促進

○ 選考理由

「少子高齢化地域の地域参画型学校」という現在の課題に取り組み、こうした状況の中で地域と学校が協働の関係を構築し、地域と学校が相乗効果で活性化を目指す取組は、一つの先行事例となりうると判断し、指定した。

また、地域の教育力を取り込むことによって、地域にゆだねられる教育内容は地域に大きく委ね、小規模校の問題点を克服しながら、教育の質を保障していこうとする取組にも期待したい。

**18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要**

区・学校名	緑区・山下みどり台小学校
ジャンル	地域参画
事業名	学生サポーター、地域人材の活用による「豊かなかかわり」を通してよりよい人間形成を図るための教育活動の構築

○ 事業概要

学生サポーター、地域人材を積極的に学校教育に取り込み、授業や放課後補習活動等の展開により、様々な人とかかわり方を学習することと、基礎的・基本的な学習内容の定着率を高めることを目指す。

- 1 地域人材、大学生等のサポーター組織の構築
- 2 放課後の補習サポート事業により、基礎・基本の定着

○ 選考理由

学生サポーターや地域人材を単なる学力向上のサポーターとして活用するだけではなく、様々なかかわりを通して人とかかわる力を育成し、人間形成の視点から捉えていこうとする切り口が新しい。今後サポーターの導入を考えている学校に新たな視点を与える先行事例となりうると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	西区・老松中学校
ジャンル	地域参画
事業名	職業体験学習を核とした、市民力を育む地域参画型学校

○ 事業概要

これまで実践してきた職業体験学習を核に、地域連携の拡大と定着を目指す。

- 1 職業体験活動を等をサポートする地域サポーター組織の確立
- 2 3年間を見通し、将来へつながる市民力育成の実践

○ 選考理由

当該校は、1週間の職業体験学習等、キャリア教育を通してすでに地域との連携が進んでいる。PSY事業として、連携をより一層促進するとともに、キャリア教育以外の様々な教育活動に地域の力を導入し、地域が参画する仕組みの構築を目指すことは、地域と協働した学校づくりの新しいモデルとなりうると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	神奈川区・栗田谷中学校
ジャンル	地域参画
事業名	地域参画型学校運営と子どもの主体的学習を導き出す学校施設・教育課程の編成（防犯・防災・交流を地域・保護者・卒業生・在校生とともに）

○ 事業概要

現図書室を「地域交流室」とすることにより、地域住民・保護者の参画による学校運営を目指す。

- 1 地域交流室の設置
- 2 同窓会、PTAを中心とした組織による地域交流室の運営
- 3 地域交流室を地区別生徒会の活動拠点とし、地域・保護者との連携強化、協働を強める

○ 選考理由

当該校は、地域と協働した学校づくりの新しいモデルとなりうると判断し、指定した。特に「地域交流室」構想は、横浜教育改革会議の答申にもある「地域職員室」構想とほぼ同じであり、当該答申の具現化モデルとも十分なり得る。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	保土ヶ谷区・新井中学校
ジャンル	地域参画
事業名	地域参画型学校 ～スポーツイベントを中核としたサポート組織の構築を目指して～

○ 事業概要

地域住民、保護者、生徒、学区小学校児童の四者が一体となる各種スポーツイベントを通して、学校教育への支援組織（サポーター）の構築を目指す。

- 1 学校教育への主体的支援組織の構築
- 2 校舎内に地域のコーディネーター・サポーター等のコミュニケーションステーションの設立

○ 選考理由

当該校は、生徒数200名足らずの小規模校である。しかし小規模校のネットワークの良さを生かし、スポーツイベントを通して既に地域や保護者との連携が進んでいる。PSY事業として、連携をより一層促進するとともに、スポーツイベント以外の様々な教育活動にも地域住民や保護者が参画するために、地域住民や保護者自身が主体的にコーディネートする組織の確立を目指すことは、地域と協働した学校づくりの新しいモデルとなりうると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」 指定校 研究概要

区・学校名	磯子区・汐見台中学校
ジャンル	地域参画
事業名	環境教育を通じた地域参画型の学校づくり ～省エネルギー学習を中心として～

○ 事業概要

省エネルギー生活の推進や新エネルギーの導入等、身近な問題から地球環境保全まで広がりのある環境教育を、地域人材や関連企業との連携・支援により進め、地域参画型学校を目指す。

- 1 ソーラーパネルの維持管理及び環境教育を主体的に推進する地域サポーター組織（仮称汐見台エコクラブ）の立ち上げ
- 2 地域（東芝、IHI、東京電力、東京ガス、電源開発）によるキャリア教育
- 3 他局（環境創造局総合企画部温暖化対策室）の事業を活用し、屋上にソーラーパネルを設置し、自校の消費電力の一部を賄う
- 4 地元企業との連携（教材の寄付等）
- 5 「新アジェンダ21かながわ」への登録

○ 選考理由

当该校は、環境創造局と連携し屋上にソーラーパネルを設置するなど、市役所他局と積極的に連携を図っている。また学区内に東芝、IHI、東京電力、東京ガス、電源開発の寮や社宅があり、そうした地域住民が環境教育をはじめ、学校教育に大きな関心を寄せている。環境教育を核に様々な教育活動にも地域住民や保護者が参画するために、地域住民や保護者自身が主体的にコーディネートする組織の確立を目指すことは、地域と協働した学校づくりの新しいモデルとなりうると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	南区・井土ヶ谷小学校
ジャンル	地域参画
事業名	地域の組織力を生かした「井土ヶ谷コミュニティプラン」

○ 事業概要

地域住民・保護者との連携により、生活力の向上と科学に関わる指導法の工夫・改善を目指す。

- 1 「まちとともに歩む学校づくり懇話会」を機能強化し、地域・保護者・卒業生等による「井土ヶ谷ボランティア・コミュニティールーム」を創設
- 2 地域・保護者と連携し、校内等の自然環境の充実と指導法の工夫・改善

○ 選考理由

地域人材や外部機関との積極的な協働によりカリキュラム開発をしていくことは、地域人材が学校教育に参画する新しい手法として、他校の先進事例となりうると判断し、指定した。

**18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要**

区・学校名	港北区・日吉台中学校
ジャンル	地域参画
事業名	地域参画型の学校教育を目指して ～造形教育に重点をおいた次世代の市民を育てるためのプロジェクト～

○ 事業概要

地域在住の画家やデザイナーとの協働による、造形教育を核とした地域参画型学校づくりを目指す。

- 1 地域在住の画家、デザイナー、企業人の学校運営・教育活動への参画およびコーディネート組織の構築
- 2 教員による地域への出前授業
- 3 地域の画家やデザイナーとのタイアップ授業
- 4 インターネット美術館を中心としたホームページの充実
- 5 取組を市美術科研究会を通して、全市、県全体へ投げかけていく

○ 選考理由

当该校は、すでに地域人材（画家やデザイナー）と協働し、造形教育を実践している。また、美術科教員が地域に出向き陶芸の「出前授業」も実践している。こうした造形教育を核とした「地域参画型学校づくり」は、教科教育を中心に様々な人材の活用を試みようとする学校のモデルとなり得る。また、事業の取組を任意団体とはいえ、「横浜市美術科研究会」を通じて全市及び県に広く発表することは、PSYの目的である「点としての良い取組を、面に広げていく」という趣旨に合致すると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	港南区・東永谷中学校
ジャンル	地域参画
事業名	地域とのネットワークで創る新学習環境事業

○ 事業概要

地域と学校とのネットワークを生かし、専門的知識と技能をもった地域人材が様々な学習活動に参画することで、教員と地域人材双方の意欲を向上させ、地域参画の定着を目指す。

- 1 地域参画型の学習支援活動の実践
- 2 地域力（専門的知識・技能等）の教育活動への参画

○ 選考理由

当該校は、17年度「PSY研究校（ネットワーク・チームワークによる科学技術教育）」として、「ロボット学習」「校内LAN整備」「小中高連携」等に取り組んできた。小中高連携では教育課程や時間割等で調整が必要であるが、地域人材による学習支援体制は整ってきた。そこで、様々な教育活動に地域人材や専門家が関わり、参画することを目指すことは、新しい学校づくりのモデルとなりうると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」 指定校 研究概要

区・学校名	旭区・若葉台東小学校・若葉台西小学校・若葉台北小学校 若葉台東中学校・若葉台西中学校
ジャンル	地域参画
事業名	学校力と地域力で創る学校 ～小中学校再編に伴う小中一貫教育のカリキュラム編成～

○ 事業概要

確かな学力の定着と向上を目指した小中一貫教育において、9年間を見通したカリキュラム編成に向けた小中合同プロジェクトの推進を目指す。

- 1 基礎基本を養う小中一貫カリキュラムの作成（国語・算数・数学・英語）と少人数指導等の指導法の工夫・改善
- 2 豊かな心や健やかな身体を養う小中一貫体験学習カリキュラムの編成
- 3 近隣高校・大学や地域行事との連携
- 4 地域人材を活用した「まちの学校」としてのサポート組織の編成

○ 選考理由

5校の小中学校が統合するにあたり、近隣の高校・大学とも連携を図り、地域人材を活用して、地域性を重視した新しい小中一貫カリキュラムを編成しようとしている。また、学校教育のサポート組織を編成し、より一層まちと共に歩む学校の実現を図ろうとしている点は、今後の統合校の先進的なモデルになりうると判断し、指定した。

**18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要**

区・学校名	鶴見区・潮田小学校
ジャンル	地域参画
事業名	教育サポーター導入による国際教室の充実

○ 事業概要

外国籍等日本語指導が必要な児童が多い中で、来日から就学までの期間に応じた指導計画モデル例の作成を目指す。

- 1 横浜国立大学の教育サポーターの活用と国際教室のあり方を検討
- 2 来日してから就学までの指導計画を作成
- 3 所属学級担任等との連携の在り方を検討
- 4 自国文化に誇りを持つための支援の在り方を検討
- 5 中学校との連携

○ 選考理由

外国籍等日本語指導が必要な児童への支援について、大学と連携した教育サポーターの導入による指導法の改善や、指導組織の改善と一体となった一人ひとりの実態に応じたカリキュラムの作成により、中学校との連携による長期の支援のあり方を検討することが一つの先行事例となると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	中区・本町小学校
ジャンル	環境教育
事業名	市街地の小学校における自然とのかかわり合いを通じた感性を育む環境教育

○ 事業概要

当该校は市街地に位置する学校であり、意図的に学校内に学校の教育活動に結びつく自然環境を作り出すことを通じた環境教育の構築を目指す。

- 1 環境教育の視点からのカリキュラムの再構成
- 2 地域人材との協働による環境教育（一人一鉢活動、プランターでの栽培活動、バケツ稲の栽培、水田での稲作り）の実践
- 3 農業体験活動をはじめとした情報の発信と交流

○ 選考理由

どこの学校でも実践でき、実践されている内容を通して、今日的な課題である環境教育について、意図的に作り出された環境を生かした教育活動を、現在のカリキュラムの中に系統的に位置づけていくことが、他校のモデル事例となると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	南区・永田小学校
ジャンル	英語活動
事業名	「話す力」を伸ばす英語活動の展開

○ 事業概要

英語活動実践推進校としての実践を生かし、英語を使って進んでコミュニケーションを図り、異文化の人々とも互いに尊重し合える児童の育成を目指す。

- 1 総合的な学習の時間における英語活動の時間のカリキュラムの充実
- 2 年間35時間の英語の時間を確保
- 3 学年に応じた「話す力」を伸ばすカリキュラムを作成
- 4 英語会話環境の日常的な設定
- 5 幼・保・小連携による児童から幼児への発信と交流

○ 選考理由

英語活動の「話す力」に力点を置き、コミュニケーション能力の視点から英語教育の教育的な効果を検証しようとしていることが、今後の他校のモデルとなりうると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	港南区・丸山台小学校
ジャンル	食育・環境教育
事業名	「食」の学びを通して健やかな身体と豊かな心を育む

○ 事業概要

「食」を生きる力・生きる上での基本と位置づけ、生産者や栄養・保健関係者等との連携により、食育から「食」にかかわる環境教育への広がりの中で、健やかな身体と豊かな心を育むことを目指す。

- 1 「食育」のカリキュラムを作成（年間35時間）
- 2 地域の特性を生かし、「食」の生産者や栄養・保健関係者等と連携した体験的学習

○ 選考理由

「食」をテーマに単なる食育教育ではなく、地域の産業と結びつき、地域人材を活用して、週1時間の教育課程の編成を目指している。また、食育から環境問題まで学習を広げる点は、今後の食育の先進的な事例となりうると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	青葉区・桂小学校
ジャンル	英語活動
事業名	英語を積極的に活用したコミュニケーション能力の活用

○ 事業概要

地域や保護者のサポーターの協力を得ながら、「わかる」「楽しい」英語活動の実践を目指す。

- 1 年間35時間の学年別のカリキュラムの作成・実践
- 2 英語の教材研究の充実
- 3 教職員対象の英語研修の実践
- 4 学校ホームページを充実させるなど、積極的に取組の情報発信

○ 選考理由

現在推進している「英語活動」を基にし、地域人材と担任による英語活動の授業展開のあり方について、カリキュラムを作成することにより、実証的に検証する。また、その際に積極的に教材開発をするなど、今後全市展開で英語教育を推進していく上での一つのモデルになりうると判断し、指定した。

18年度「パイオニアスクールよこはま」
指定校 研究概要

区・学校名	泉区・上飯田中学校
ジャンル	共生教育
事業名	上飯田中学校区国際理解教育（多文化共生教育推進事業）

○ 事業概要

教育課程内・教育課程外から成り立つ。日本を含め様々な国籍の生徒が、学校を中心としてのコミュニケーションができることを目指す。

- 1 地域人材による外国人生徒に対する母語指導、母語による教科支援、放課後補習の実践
- 2 多文化共生に向けた教職員研修
- 3 上飯田地区4校連絡会（上飯田中学校、上飯田小学校、飯田北小学校、いちょう小学校）の事業を通して小中の連携を進め、また「多文化共生のまちづくり推進事業」とも関連し、事業を推進

○ 選考理由

当該校（地域）は、外国籍及び日本語を母語としない生徒の割合が比較的多く、その国籍は多岐にわたっている。そうした環境の中で、生徒は国籍等に関わらず様々な言語に接することになる。こうした学校の特色を生かし、友人を通して多文化を学び合うことになるが、今後ますます社会の国際化が進むと、こうした取組は多文化理解・共生のモデル及び小中連携など中学校区としての取組も、十分にモデルとなり得ると判断し、指定した。

【参 考】

17年度パイオニアスクールよこはま(PSY)指定内容

区	学校名	事業名	ジャンル	事業概要
中	間門小	水族館の運営を中心とした地域参画を目指す学校づくり	地域参画	既存の地域ボランティアクラブ「アクアミュージックフレンドリークラブ」との連携を通して、地域参画という視点から水族館の管理運営方法(地域への完全委託も含め)の研究・実践。
中	吉田中	「Coperative Community YOSHIDA」～地域力(ソーシャルキャピタル)の醸成を図る協働型地域「吉田」をめざして～		地域力・学校力を高めるための協働方法を研究・実践し、「学校運営協議会」の設置を地域とともに目指す。
神奈川	三ツ沢小	子どもたちが自己実現できる喜びを味わえる「まちの学校」づくり		『「まち憩」の組織改善及び機能強化」①学校評価 ②国語力向上のための言語環境整備 ③学校・家庭・地域の役割分担の明確化
磯子	根岸中	小規模校であることを生かし、地域に見守られた学校づくりを行なう。		①芝生化された校庭の維持管理を中心とした地域の学校運営への参画及び学校評価への参画 ②小規模校の特性を生かした教科指導方法の研究
栄	本郷小	地域人材を活用した自然体験や社会体験活動 コミュニケーション能力を高める教育		恵まれた自然環境や豊富な地域人材を生かした自然体験学習や社会体験学習等の教育活動を支援する組織としての「まちとともに歩む学校づくり懇話会」の機能や組織を改善・充実させ、地域人材がより一層積極的に子どもの教育活動にかかわるようにする。
港北	港北小	「ひと・もの・こと」を活かした学校づくり		『「まちとともに歩む学校づくり懇話会(港北小教育懇話会)」の機能改善強化」①協議組織から協働組織への変革 ②協議会形式から作業部会組織への変革 ③学校・家庭・地域の役割分担と責任分担 ④地域と分かち合う学校評価
都筑	東山田中	次世代学校運営のモデル構築事業		①学校運営協議会の設置 ②大学生のインターンシップ制度の導入 ③職員室のIT化
神奈川	松本中	大学との連携で学びの場が豊かに広がる夢のある学校づくり	地域の大学との連携	「神奈川大学との連携・協働」①文化祭等の交流や共催 ②中学校における市民大学講座の開設 ③大学生による教育ボランティア ④中学生の大学図書館の活用
港南	南台小	英語活動の展開による、英語によるコミュニケーション能力の育成。	小学校英語	年間35時間以上の「英語活動」のカリキュラム開発及び実践。カリキュラムは学区中学校の英語教育に接続できる内容。
旭	今宿南小	地域人材と学級担任が連携する英語活動の在り方		地域人材を活用し、①全学年の英語活動のカリキュラム作成。 ②英語の教材研究の充実 ③教職員に対する英語の研修。
中	港中	トライリンガル生徒の育成	三か国語語学教育	①国際交流協会や地域ボランティアとともにプロジェクトチームを編成し、語学教育(日本語、英語、中国語)に取り組む。 ②中国籍の子どもとのコミュニケーションの向上
中	本牧小	小学校における算数指導の専科制と教材等の情報のネット化	算数の教科専科制	教員の加配なしで算数科の専科制の研究・実践を目指す。
西	宮谷小	学校の特色を生かした「健康科」の導入	健康教育	健康教育の総合的、体系的構築①教科として「健康科」カリキュラムの作成 ②指導方法の工夫・改善

西	西前小	西前小学校と西中学校との小中9年間一貫カリキュラム編成の合同プロジェクト	小中一貫教育	①小学校算数教育から中学校数学教育への接続を考えた小中一貫カリキュラムの作成・実践。②「英語教育推進校区」としての小学校英語教育から中学校英語教育への接続を考えた小学校英語教育カリキュラムの作成・実践。
西	西中			
中	立野小	立野小学校と仲尾台中との小中一貫5年間カリキュラム編成の合同プロジェクト		①小学校5、6年生と中学3年間の計5年間を見通した英語、算数・数学、国語の小中一貫カリキュラムの研究・実践。②小学校5、6年生における教科担任制(英語、算数、国語)を視野に入れた中学校との相互乗り入れ。(T.T.、少人数、習熟度別指導)③授業補助者としての地域ボランティアの活用
中	仲尾台中			
金沢	釜利谷西小	釜利谷西小学校と西金沢中との連携型小中9年間一貫カリキュラム編成の合同プロジェクト		①小中9年間を「4・3・2」の3段階に分けたカリキュラム編成の研究と実践。②国際性豊かな児童・生徒を育成するための英語教育(活動)及び日本語教育の充実。③小学校5、6年生における教科担任制の導入(国語、算数、理科、英語)④小学校5、6年生と中学校1年生の移行期の連続性を重視したカリキュラム編成の研究と実践(音楽、体育と保健体育、図工と美術、図工と技術・家庭科)
金沢	西金沢中			
緑	霧が丘第一小	英語、国語、理科、数学、情報教育及び総合的な学習の時間における学区内小中一貫カリキュラム編成の合同プロジェクト		国際化・情報化への対応を中心とし、公立の良さを生かした小中一貫校を目指し斬新な学校づくりをする。(霧が丘地区4校合同プロジェクト)①英語、情報教育(ICTの活用)、国語を中核とした小中一貫教育カリキュラムの研究・実践②算数・数学における一貫カリキュラムの作成と少人数指導等の指導法の工夫・改善③英語教育を中心とした地域内の高等学校、短期大学、大学等の密接な連携、交流。④地域との連携を重視し、「まちの学校」としての「霧が丘小中学校」の地域サポーター組織の編成と地域人材の積極的な活用。⑤教育ブログ
緑	霧が丘第二小			
緑	霧が丘第三小			
緑	霧が丘中			
中	富士見中	多文化共生の学校・「まち」づくり	多文化共生	ことば(言語)の違い、大切さを学ぶために、①外国籍生徒及び日本語を母語としない生徒への日本語指導②全校生徒の多言語学習(タガログ語、中国語、韓国・朝鮮語)。3年間で3言語を学ぶ③外国籍生徒及び日本語を母語としない生徒への母語指導、母語によるカウンセリング。
泉	いちょう小	多文化共生教育推進事業		日本、中国、ベトナム、カンボジア、ブラジル、ペルー等の様々な国籍の子どもの母国の文化を、それぞれの国の言葉を交えながら学び、理解を深める。また校内の多言語表示化をすすめ、日常生活から各国の言語に親しめるような環境づくり等を通して、国際理解教育を推進する。
西	東小	日本文化及び外国籍児童の国の文化に親しむ多文化共生教育		「外国籍児童に対する国語科指導法の工夫」①少人数指導②日本文化の伝承
南	日枝小	「生きる力」を育てる児童指導の充実～教科との関連を図った総合的な学習を核にした魅力ある学校づくり。専任化を指向した児童指導コーディネーターの設置による組織体制づくり～	児童指導	魅力ある授業づくりを進めるとともに、児童の多様化するニーズにきめ細かく対応するために、児童指導コーディネーターを配置する。また教員一人ひとりがそうしたニーズに対応した指導力を身に付けるために、「日枝小教師塾」、また他校教員も対象にした「横浜教師塾」を開設し、外部講師等による指導力向上セミナーを開催する。